

受講登録に関する留意点

① <<新2・3回生のみ（2014年度入学者以降）対象>>

「学修要覧-2014年度入学者用-」「学修要覧-2015年度入学者用-」の変更について

「Ⅶ. 資格取得について」の変更について

全ページ差し替え。修得すべき科目一覧に変更が生じていますので、資格取得予定者は次ページを必ず、確認してください。

Ⅶ. 資格取得について

1. 健康運動指導士
2. 健康運動実践指導者
3. 日本体育協会公認スポーツ指導者
4. トレーニング指導者

1. 健康運動指導士

1.1 健康運動指導士とは

個々の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成および指導を行うものに与えられる、財団法人健康・体力づくり事業財団の資格です。この資格は国民一人ひとりの健康維持・増進のための運動プログラム作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担っています。

近年では、メタボリックシンドロームの予防、生活習慣病ハイリスク者への運動指導や少子高齢社会を踏まえた介護予防のための運動指導の専門家の必要性が増しており、健康運動指導士への期待が高まっています。

健康運動指導士の資格保持者の就職先は、地域や民間のフィットネス施設だけではなく、健康増進施設や病院、介護保険施設、一般企業の保健事業にまで及び、今後さらなる増加が見込まれています。

*詳細は、財団法人健康・体力づくり事業財団のホームページを参照してください。

1.2 資格取得の方法

スポーツ健康科学部は、財団法人健康・体力づくり事業財団の健康運動指導士養成校として認定を受けています。

下記の条件を満たした上で認定試験を受験・合格したのち、登録申請を行うと健康運動指導士の称号が与えられます。

(1) 受験資格

①スポーツ健康科学部が定める健康運動指導士資格取得のための下記の指定科目19科目をすべて履修・修得している者。

②卒業見込み、あるいは卒業している者。

なお、非喫煙者が望まれます。

【注意事項】

受験資格を得るためには、指定科目の単位をすべて「修得済み」であることが必要です（「修得見込み」では受験できません）。3回生終了までに必要単位を修得することを目指してください。

(2) 認定試験について

申し込み方法等については、3回生以上を対象に、後期受講登録ガイダンス時に案内します。

(3) 修得すべき科目一覧

在学中に下記19科目すべての単位修得が必要です。

	科目名	配当回生
1	基礎スポーツ医学Ⅰ（内科系）	1
2	基礎機能解剖論	1
3	トレーニング科学	2
4	スポーツ栄養学	2
5	スポーツ心理学	2
6	基礎スポーツ医学Ⅱ（外科系）	2
7	衛生学（公衆衛生含む）	2
8	スポーツ指導実習B（有酸素・レジスタンストレーニング）	2
9	パフォーマンス測定評価実習Ⅰ	2
10	スポーツバイオメカニクス論	3
11	スポーツ生理学	3
12	生活習慣病論	3
13	運動処方論	3
14	健康増進科学	3
15	運動生理学	3
16	健康運動指導論	3
17	インターンシップ（健康運動指導士）*	3
18	スポーツ指導実習B（水泳）	3
19	健康スポーツ指導実習	3

*詳細についてはP.31参照

2. 健康運動実践指導者

2.1 健康運動実践指導者とは

積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導できる能力を有すると認められる者に与えられる、財団法人健康・体力づくり事業財団の資格です。

医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能等を持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づいて実践指導を行う役割を担っています。

*詳細は、財団法人健康・体力づくり事業財団のホームページを参照してください。

2.2 資格取得の方法

スポーツ健康科学部は、財団法人健康・体力づくり事業財団の健康運動実践指導者養成校として認定を受けています。

下記の条件を満たした上で認定試験を受験・合格したのち、登録申請を行うと健康運動実践指導者の称号が与えられます。

(1) 受験資格

①スポーツ健康科学部が定める健康運動実践指導者資格取得のための下記指定科目12科目をすべて履修・修得している者。もしくは修得見込である者。

②大学に2年以上在学している者。

(2) 認定試験について

試験は指導実技試験と筆記試験があります（在学中に受験）。

申し込み方法等については、3回生以上を対象に、後期受講登録ガイダンス時にスポーツ健康科学部事務室より案内します。

(3) 修得すべき科目一覧

在学中に下記12科目すべての単位修得が必要です。

	科目名	配当回生
1	基礎スポーツ医学Ⅰ（内科系）	1
2	基礎機能解剖論	1
3	スポーツ栄養学	2
4	スポーツ心理学	2
5	基礎スポーツ医学Ⅱ（外科系）	2
6	スポーツ指導実習B（有酸素・レジスタンストレーニング）	2
7	スポーツ生理学	3
8	生活習慣病論	3
9	運動処方論	3
10	健康運動指導論	3
11	スポーツ指導実習B（水泳）	3
12	健康スポーツ指導実習	3

3. 日本体育協会公認スポーツ指導者

3.1 日本体育協会 公認スポーツ 指導者とは

財団法人日本体育協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者で、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる者に与えられる資格です。

日本体育協会では年齢（発育発達段階）や技能レベル、興味や志向など多様なスポーツ活動に対応するため、指導対象や活動拠点を考慮し、スポーツリーダー、競技種目別指導（コーチ、指導員）、フィットネス（ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー）、メディカルコンディショニング（アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士）、マネジメント（アシスタントマネージャー、クラブマネージャー）の領域における指導者を養成しています。

*詳細は、財団法人日本体育協会のホームページを参照してください。

3.2 資格取得の方法

日本体育協会が認定するスポーツリーダー以外の資格を取得するには、共通科目と専門科目の受講等が必要です。

スポーツ健康科学部は、財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会講習・試験免除承認校として認定されており、共通科目の受講が免除されます。

下記の指定科目14科目をすべて履修・修得することにより、卒業時にスポーツ指導者養成講習会免除適応コース（共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）修了証明書ならびに公認スポーツ指導者資格「スポーツリーダー」の認定証を取得できます。申請方法等については、スポーツ健康科学部事務室より案内します。

※申請は卒業時に限ります。卒業後の申請はできませんので注意してください。

なお、「スポーツリーダー」以外の資格を取得するためには、卒業時に取得する修了証明書に加えて、取得を希望する資格の養成講習会を受講することが必要です。資格の種類や講習会の受講条件等は、財団法人日本体育協会のホームページで確認してください。

3.3 修得すべき科目 一覧

在学中に下記14科目すべての単位修得が必要です。

	科目名	配当回生
1	生涯スポーツ論	1
2	基礎スポーツ医学Ⅰ（内科系）	1
3	トレーニング科学	2
4	スポーツ栄養学	2
5	コーチング論	2
6	スポーツマネジメント論	2
7	スポーツ心理学	2
8	基礎スポーツ医学Ⅱ（外科系）	2
9	パフォーマンス測定評価実習Ⅰ	2
10	エクササイズプログラミング論	3
11	スポーツバイオメカニクス論	3
12	運動生理学	3
13	スポーツ指導論	3
14	スポーツ政策論	3

4. トレーニング指導者

4.1 トレーニング指導者とは

トレーニングの対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を修得したと認められる者に授与される、特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会の認定資格です。

スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格として位置づけられます。

*詳細は特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会のホームページを参照してください。

4.2 資格取得の方法

スポーツ健康科学部は特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者養成校として認定されています。

下記の条件を満たした上で認定試験を受験・合格したのち、会員登録を行うことにより、トレーニング指導者の資格を得ることができます。

(1) 受験資格

スポーツ健康科学部が定めるトレーニング指導者資格取得のための下記指定科目20科目をすべて履修・修得している者。もしくは修得見込である者。

(2) 認定試験について

申し込み方法等については、3回生以上を対象に後期受講登録ガイダンス時にスポーツ健康科学部事務室より案内します。

(3) 修得すべき科目一覧

下記20科目すべての単位修得が必要です。

	科目名	配当回生
1	スポーツ健康科学	1
2	基礎スポーツ医学Ⅰ（内科系）	1
3	基礎機能解剖論	1
4	調査方法論	2
5	トレーニング科学	2
6	スポーツ栄養学	2
7	コーチング論	2
8	スポーツマネジメント論	2
9	スポーツ心理学	2
10	基礎スポーツ医学Ⅱ（外科系）	2
11	スポーツ統計学	2
12	リーダーシップ論	2
13	スポーツ指導実習B（有酸素・レジスタンストレーニング）	2
14	パフォーマンス測定評価実習Ⅰ	2
15	スポーツサイバネティクス論	3
16	エクササイズプログラミング論	3
17	スポーツバイオメカニクス論	3
18	生活習慣病論	3
19	運動処方論	3
20	運動生理学	3